Ⅰ　進路選択に向けて

１　将来的な見通しをもって進路を考えよう！

自分は，将来どんな仕事をしていきたいのか？自分は，どんなことに興味や関心があるのか？自分は，どんなことが得意だったり，不得意だったりするのか？なんのために，進学するのか？など自分自身をみつめ，進路先で生き生きと目標を持って，頑張っていける力をつけていきましょう。家の人や先生のアドバイスも，いろいろな角度から検討をしていきましょう。

○将来への展望・自分の適正をしっかり見つめて進路を選択しよう。
○『選択した学校・職場でどのようにがんばっていくか』が大切です。
○「どこかの学校に入ればいい」という考え方をどう思いますか？
○「友だちが行くから自分も行く」という考え方をどう思いますか？
○周囲のうわさなどに振り回されないようにしよう。

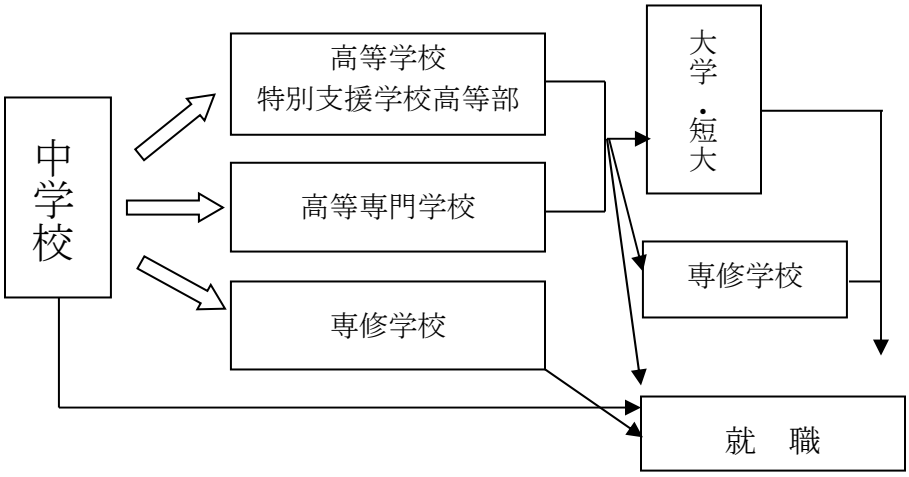
２　自分の人生は自分の力で！

～最終的には自らの意志で進路を選択しよう～
○「後悔先に立たず」・・・自分の決断が自分の人生への自信を生む。
○自分の決断を実現するために，全力を尽くして努力しよう。
○いろいろな人の生き方から学ぼう！保護者や先生のアドバイスからも学ぼう！
○家庭のいろいろな事情や家族の意向も尊重して！

３　今後の生活のあり方をみつめよう！

○『自らの進路をきりひらいていく生活・学習になっているか』と常に自己を見つめながら努力を重ねよう。
○自分の進路が大切なように，友だちの進路も大切にしよう。
○お互いに進路の悩みや不安が話せ，助け合える仲間づくりをしよう。
○わからないことは，保護者・先生・先輩に尋ねよう。
○3 年生の 1 学期までに，自分の誇れることをつくろう。

Ⅱ　中学校卒業後の進路選択と決定について



1　就職について

就職する場合は，ハローワーク（職業安定所）を通して手続きをしてください。
※職場適応や雇用条件の適性を期するため

本人・保護者　⇔　学校　⇔　ハローワーク福山　⇔　企業・事業所

※就職を希望される方は，学級担任にご相談ください。

2　進学について

（1）高等学校

高等学校については，課程による分類や学科による分類があります。それぞれ特色があるので，しっかり検討して自分に合った課程・学科・コースを選びましょう。

①設置者による区分

国立，公立（県立・市立），私立

②課程による区分

全日制課程	・平日の昼間に授業を行う課程。 ・修業年限は３年。
定時制課程	・働きながら学ぼうとする人や，必要に応じて学習しようとする人のために設けられた課程。 ・午前・午後・夜間のものがある。 ・修業年限は4年以上(3年で修了可能な学校もある)
通信制課程	・働きながら学ぼうとする人や，必要に応じて学習しようとする人のために設けられたもので，報告課題レポートの添付指導を中心として面接指導と試験を行って、高等学校の学習課題を履修する。したがって学習の仕方は自学自習が基本である。 （年に２０日以上の登校が必要など各校により年間登校日数がある） ・修業年限は３年以上。

③各学科の特色

普通科	国語，地理歴史，公民，数学，理科，保健体育，芸術，外国語，家庭情報という普通教科・科目を中心に学習する学科です。 １年生の時は全員が同じ授業を行い，２年生からは「類型」などに分かれて学ぶ学校が多くあります。「類型」は，高校に入学した後，自分の興味や関心，進路希望などに応じて選ぶことができるものです。
普通科 (コース制)	普通科目を中心に学習しますが，特定の教科・科目を１年生の時から重点的に学習できるようにするためコースが設置されています。一般の普通科とは別に入学定員枠が定められているので，コースの選択は入学前に行うことになります。

総合学科	総合学科は，普通科と専門学科の両方の教育内容を持つ学科です。選択科目の割合が全体の約40～50%とたいへん高く，普通科目や専門科目などの中から，自分の興味や関心，進路希望などに応じて選んで学習します。生徒一人一人の希望に応えるために，選択科目は幅広い分野にわたって用意されており，選択のめやすとして「系列」が設けられています。
国際科	外国語による実践的なコミュニケーション能力と，物事を広い視野で考え理解することができる豊かな国際感覚を身につけた人材の育成をめざす学科です。「聞く・話す・読む・書く」という総合的な英語力を養うとともに，英語以外の外国語も学習し，言語や文化の多様性を学びます。
体育科	体育・スポーツの専門的な知識や技能を習得し，将来の体育・スポーツの振興・発展を支えることができる人の育成をめざす学科です。特定のスポーツを選択して，その運動技能をさらに向上・強化することができます。
理数科	自然科学及び数学関連の科目に重点をおいたカリキュラムが組まれている学科です。知識を深めるとともに，さまざまな問題を科学的・数学的に考え，最も的確な方法でスピーディに，処理する力や態度を養っていきます。
商業に関する学科	商業に関する学科には，「商業系」「流通経済系」「国際経済系」「会計系」「情報処理系」などの学科があります。それぞれの学科に合わせて特色ある専門科目が用意されているので，自分の進路希望に応じた学習ができます。デパートや商店街でのインターンシップ，販売実習，海外研修などの体験的な学習も充実しています。
工業に関する学科	工業に関する学科には，「機械・金属系」「電気・電子系」「建築・インテリア系」「化学・繊維系」などの学科があります。それぞれの学科に合わせて特色ある専門科目が用意されているので，自分の進路希望に応じた学習ができます。
農業に関する学科	農業に関する学科には，「フードシステム系」・「エコロジー系」・「バイオテクノロジー系」・「ヒューマンサービス系」などの学科があります。それぞれの学科に合わせて特色ある専門科目が用意されているので，自分の進路希望に応じた学習ができます。
家庭に関する学科	家庭に関する学科には，「家政系」「食物系」「福祉系」の各学科があります。それぞれの学科に合わせて特色ある専門科目が用意されているので，自分の進路希望に応じた学習ができます。
看護に関する学科	衛生看護科は，看護師の国家試験受験資格が得られる学科です。 高等学校衛生看護科３年間と専攻科２年間の５年間を通して学ぶ「５年一貫看護教育」が開始され，看護教育を継続してじっくり受けることができます。
福祉科	福祉科は，介護福祉士の国家試験受験資格が得られる学科です。 専門科目を中心に，施設実習，校内実習，外部講師による講演，地域活動など，福祉について幅広く学びます。

④社会参加をめざす教育

特別支援学校 高等部	社会参加を目的に，個々の障害の状況に即した普通科教育や職業教育が行われており，いろいろな知識や技術を学び，将来，社会に参加し活躍する力を身につけることができます。

（２）高等専門学校について

工業関係や商船関係の技術者になろうとする人たちのための高等教育機関です。修業年限は 5 年で，専門的に研究実習をし，卒業後は中堅技術者としての資格を得ます。また，卒業後，大学３年生に編入学することもできます。

（３）高等技術専門校について

1 年または 2 年で技能者としての専門知識を集中的に習得し，実社会で直接役立つ技術を身に付けます。多くの科がありますが，中学校卒業で入学できるのはこのうちの一部（溶接加工科，建築科共に短期課程で若干名の募集）です。

（４）専修学校・各種学校について

職業または実生活に必要な知識技能を身に付けることを目的にする教育機関です。期間は様々です。情報処理，医療，社会福祉，ビジネス，家政，語学などがあります。

Ⅲ　高校入試の概要

１　広島県公立高等学校の入学者選抜について

県内すべての県立高校の中から自ら学びたい高校を選んで受検できます。

・福山市立福山高等学校について

＜通学区域＞　広島県一円

（１）一次選抜 …全日制・定時制

①出願資格

中学校を卒業する見込みの者

②定員

入学定員の１００％で実施する。定員は，各高等学校長が定める。

③出願

ア 1 校に限り受検できる。学科は第 3 希望まで書ける場合もある。

イ 入学願書・入学者選抜願・受検票　…　自分で書く

（願書の中の保護者名は保護者が書く。）

ウ 調査書・志願者名簿　…　学校が準備

④選抜　…　案では２月中旬～３月上旬

ア　学力検査（国語・社会・数学・理科・英語）

イ　学校・学科によっては，実技検査や特色枠を設定する場合がある。

ウ　学校・学科によっては，自校作成問題による学力検査を実施する場合がある。

⑤検査内容

ア　学力検査

科目　　国語・社会・数学・理科・英語

※学校，学科によっては特定の教科を，傾斜配点する場合もあります。

（大門：普通科理数コース…数学・理科２倍など）

※自校作成問題　福山誠之館（数学，英語）

イ　調査書

評点　　１，２学年の評点は９教科４５点満点

３学年の評点は９教科４５点×３で１３５点満点

以上を合計し４５＋４５＋１３５＝２２５点満点で評価する。

ウ　自己表現

受検者は，自分自身のこと（得意なことやこれまで取り組んできたことなど）や高等学校に入学した後の目標などについて，自分で選んだ言葉や方法で試験官（２～３名）の前で表現する。

試験官１名につき１５点満点の持ち点で評価する。（**p１５**を参照）

⑥選抜　…　案では２月中旬～３月上旬

学力検査・調査書・自己表現（学校・学科により実技検査などもある）

⑦合否の判定方法

学力検査・自己表現・調査書を６：２：２で換算した結果に基づいて総合的に判断される。（**ｐ１５**を参照）

（３）二次選抜 …全日制・定時制

①実施校

一次選抜の結果，合格者（入学を辞退した者を除く）の数が入学定員に満たない場合に，実施される。

②出願資格等

ア　全日制の場合

次の（ア），（イ）の両方の条件を満たす者が出願できます。

（ア）いずれの公立高等学校にも合格していない者

（イ）いずれの国・私立高等学校（高等専門学校を含む）にも入学手続きをしていない者

※入学手続きとは入学手続金等（第１段階の納入金）を納入すること

イ　定時制の場合

中学校を卒業した者，令和５年３月卒業見込みである者などが出願できます。なお，一次選抜・二次選抜に出願していない場合も出願できます。

③合否の判定方法（二次選抜）（**ｐ１６**を参照）

（４）**通信制**の課程の入学選抜について

①実施校

通信制の課程を置く次の高等学校において実施する。

県立東高等学校

②出願資格等

中学校を卒業した者，令和５年３月卒業見込みである者などが出願できます。

（５）その他

①県立高等学校の通学区域は全県一円となっています。

②広島県公立高等学校の入学者選抜の受検料について

令和４年度の全日制受検料は，選抜（Ⅰ），選抜（Ⅱ），選抜（Ⅲ）と 2200 円，定時制は 950 円でした。

２　私立高等学校入学者選抜について

（１）入学者選抜について

①推薦･専願入試　　②一般入試　　③二次募集

※二次募集は②の一般入試で定員に満たない場合行われます。

（２）推薦･専願入試について

①目的

推薦・専願入試は，該当高校，学科，コースを志望する明確な動機・理由があり，適性，興味・関心及び学習意欲を有する生徒に対して行なわれる。

②推薦入試出願資格及び推薦基準

高等学校，学科により多少異なる場合があるが，おおむね次の条件を満たし，在学中学校長が責任を持って推薦できると認めた生徒が対象となる。

【本校の推薦基準】（ｐ１７による）

（３）私立高校の入試制度の特徴

① 全国どこでも受験できます。

入試において，『推薦入試』『専願入試』を実施する高等学校があります。

『推薦入試』『専願入試』で受験した場合，**合格したら必ず入学しなければなりません。（合格したら他の学校へ受験することができません。）**

② 公立高等学校の入試よりも時期が早い。

主に，１月初旬ごろから１月中旬ごろにかけて入学試験が実施されます。

③ 入試教科などは，それぞれの学校や科によって異なります。

④ 合否の判定基準

各高等学校によって異なりますが，一般的に学力試験・調査書・面接などで総合的に判断されます。その他，作文・実技試験などがある高等学校もあります。（面接では中学校３年間で頑張ったことや所作等が見られます。）

Ⅳ　今後の予定とセミナー学習

１　今後の予定

下の日程は，２０２１年度（令和３年度）進路関係の年間計画です。来年度の年間計画の目安として，参考にしてください。

月	進路に関する取組	テスト関係
4	第 2 回進路希望調査	第 1 回実力診断テスト(6,7 日)
5	校長面接練習 オープンスクール	学力の伸びを把握する調査(11 日) 全国学力学習調査(27 日)
6	進路説明会	第 2 回実力診断テスト（7,8 日） 1 学期期末試験(28,29,30 日)
7		
8		２学期確認テスト(26,27 日)
9	第 3 回進路希望調査	第 3 回実力診断テスト（6,7 日） 2 学期中間テスト(28,29 日)
１０	進路説明会(22 日) 受験校確認書（10 月末～11 月初旬）	第 4 回実力診断テスト（5,6 日）
１１	作文・面接練習開始 進路懇談会(9, 10, 11 日) 第 4 回進路希望調査 校長面接練習	2 学期期末試験(17, 18, 19 日)
１２	三者懇談会(13, 14, 15, 16 日) 私立・選抜Ⅰ願書記入 受験校確認書	
1	私立入学試験 選抜Ⅰ願書提出(20～25 日) 希望者三者懇談会(27,28 日)	学年末試験(5, 6, 11 日) 第 5 回実力診断テスト(19,20 日)
2	選抜Ⅰ入試(3 日) 選抜Ⅱ願書提出(15～24 日) 校長面接練習	
3	選抜Ⅱ入試(7, 8 日) 選抜Ⅲ願書提出(18,22 日) 選抜Ⅲ入試(23 日)	

２　セミナー学習について

⑴　ねらい

本校では，３年生の進路学習と合わせて，学力の向上・充実を図るため，次の３つの目標を設定しています。

①進路実現に向け，毎日一定量の学習を，協力して実施すること。
②実施方法は，生徒自身の自主的な学習によるものとし，長期の学習計画の継続によって，学習方法と学習習慣を身につけさせること。
③形式的な学習に終わることなく，反復学習によって，確かな学力を定着させること。

以上の目的のために，「セミナー学習」を採用し，次のとおり実施していきたいと考えています。なお，セミナー学習の購入の有無につきましては各家庭での希望制となります。別紙の購入希望用紙をご覧いただき，購入するかしないかをご検討し，購入希望用紙を２月１０日（木）に担任までご提出ください。
※セミナー学習の購入を希望しない場合，代わりに活用する教材の準備をお願いします。

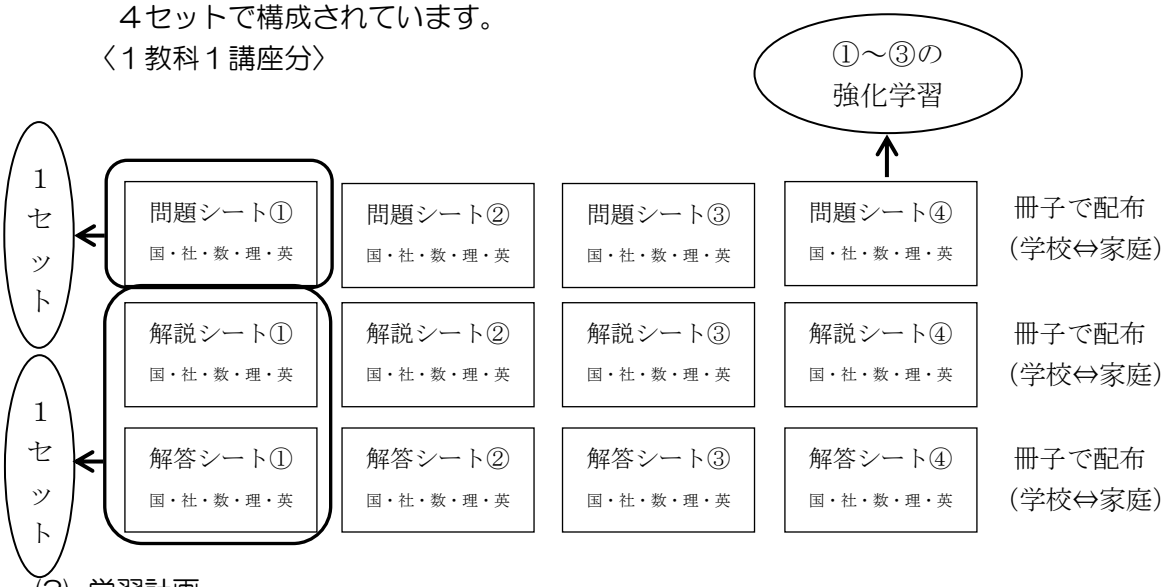
⑵　「セミナー学習」のしくみと内容

①１つの講座に５教科が入っており，中学３年間の内容が全１１講座に分けてあります。また，基礎強化と入試対策のための特別講座が２つあります。

★１～６ 講座（１・２年内容）	★７講座（１・２年総仕上げ）
★８～10 講座（３年内容）	★11 講座（全学年総仕上げ）
★特別講座Ａ （３年１学期内容までの基礎強化）	★特別講座Ｂ （３年１学期内容までの入試対策）
（この中から，合計１１講座を実施する予定です。）	

②１つの講座は，各教科問題シート・解説シート・解答シートを１セットとして，４セットで構成されています。

〈１教科１講座分〉



⑶　学習計画

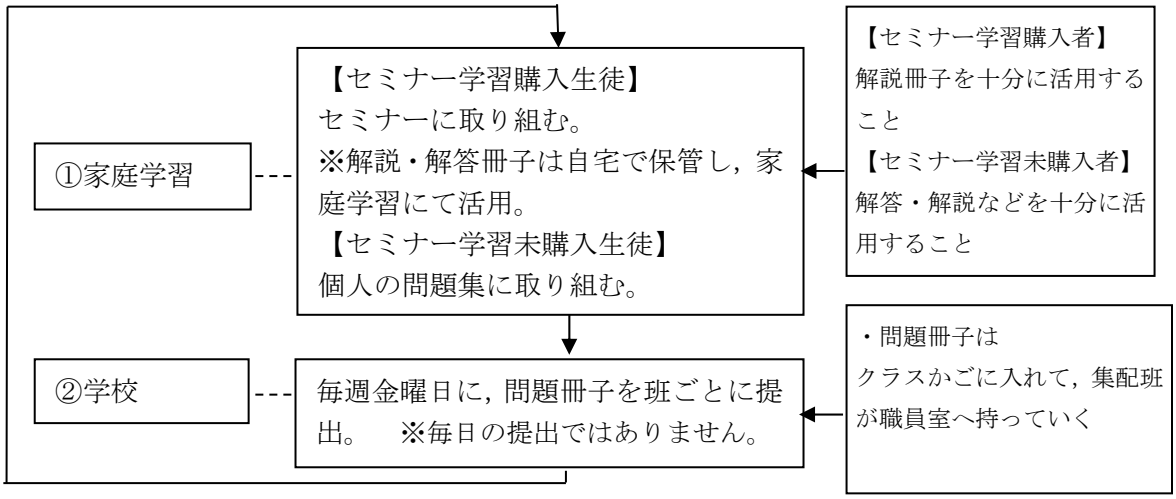
①　１日に１教科・１セットずつ行い，１週間で５教科，１ケ月で２０セット（１講座分）を学習します。週末は原則２教科を行います。

② 年間の学習計画（予定）　　**※３月上旬から開始予定です。**

	２年	３年										
月	３	４	５	６	７	８	９	10	11	12	１	２
講座	１・２	３	４	５	６	７	８	特Ａ	９	10	入試問題等	
内容	１・２年まとめ						３年 １学期まで		３年 まとめ		全学年	

⑷ 実施方法

① １日分の学習サイクル



② 学習後にすること

問題冊子は反復学習に利用します。全ての問題冊子を確実に保管していきましょう。

注意点

①令和３年度進路関係の年間計画にもあるように入試に向けた実力診断テスト（セミナーテスト）を実施します。

②実力診断テスト（セミナーテスト）の結果は，進路面談の資料となります。
　セミナーを購入されない方も，実力診断テスト（セミナーテスト）は受けていただきます。

③実力診断テスト（セミナーテスト）の範囲はセミナー学習講座に沿って発表されます。

④問題冊子を毎週金曜日に忘れずに学校に持ってきてください。

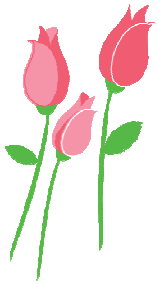
※保護者の皆様へ

「セミナー学習」は学校と家庭での学習が必要となりますので，家庭学習でのご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

★２年時のセミナー学習計画表（予定）

月日	曜	行事	セミナー	月日	曜	行事	セミナー
1/28	金	進路説明会		3/1	火		
1/29	土			2	水		
1/30	日			3	木		
1/31	月			4	金		１講座①提出日
2/1	火			5	土		
2	水			6	日		
3	木			7	月		
4	金			8	火		
5	土			9	水		
6	日			10	木		
7	月			11	金	卒業式準備	１講座②提出日
8	火			12	土	卒業証書授与式	
9	水			13	日		
10	木	学年末試験仮発表		14	月	振替休業日	
11	金	建国記念の日		15	火		
12	土			16	水		
13	日			17	木		
14	月			18	金		１講座③提出日
15	火			19	土		
16	水			20	日		
17	木	学年末試験発表		21	月	春分の日	
18	金			22	火		
19	土			23	水		
20	日			24	木		
21	月			25	金	修了式・離退任式	１講座④提出日
22	火			26	土		
23	水	天皇誕生日		27	日		
24	木	学年末試験①		28	月	春休みにて２講座	
25	金	学年末試験②		29	火		
26	土			30	水		
27	日			31	木		
28	月	学年末試験③					

※春休み明けテスト＝第一回実力診断テスト（セミナーテスト）実施予定



Ⅴ　３年生になる心構え

1　学習面について

(1) 心構え

①学習は常に「なぜ」との問いです。すぐにあきらめず，じっくりと時間をかけ，地道に努力を重ねましょう。

②「わからない」「知らなかった」ということを，少しでも「わかった」「できた」と言えるよう努力しましょう。

(2) 学校の授業では

①1 時間 1 時間の授業を大切にして集中して受けましょう。

②テストだけでなく，実技，作品制作，提出物，課題への取り組みもきちんとしましょう。

(3) 家庭での学習

①宿題，セミナー学習，予習・復習は確実に実行し，1 日に 2 時間以上は学習する習慣をつけましょう。

②苦手な教科については，復習を少しずつでも毎日続けましょう。また，教科担任のアドバイスを求めましょう

③学習計画を立て，決まった時間に学習をする習慣をつけるなど，家庭での学習を充実させましょう。

(4) セミナー学習

①3 月から入試に向けて，セミナー学習を行います。 1 年生からの総復習です。学習をやり直すチャンスなので，とことん取り組んでください。

②セミナー学習の内容の実力診断テストを行います。高校入試の判定の資料に使います。

2　生活面について

(1) 今の自分の生活習慣を見つめ，課題や努力不足の点を着実に改善し，学習や生活の規律を高めましょう。

・服装，頭髪,言葉づかい　・持参物（授業道具等）・あいさつ　・家庭学習の充実

(2) 時間を守りましょう。

・自分のやるべきことを計画する　　・提出物の期限を守る

(3) 諸活動へ積極的に参加し，取り組みましょう。

・学校行事 ・生徒会活動 ・学級活動 ・部活動 ・清掃活動 ・ボランティア活動など

(4) 健康管理に努め，調子の悪い時は早めに専門医に診てもらいましょう。

3　その他

(1) 不安なことや悩みがあれば，一人で考えずに家族の人や先生に相談して，早く解決しましょう。

(2) 最初の進路希望調査で，自分の目標とする進路が答えられるように，家庭で進路についてよく話しておきましょう。

資料１　①近隣の公立高校の学科

	所在地	学校名	学科（コース）
公立 高校 全日制	神辺町	神辺旭	普通　体育
		神辺	総合学科
	福山市	福山葦陽	普通
		沼南	家政　園芸デザイン
		大門	普通　普通（理数コース）
		福山明王台	普通
		福山市立福山	普通
		福山工業	機械　電気　建築　電子機械 工業化学　染織システム
		福山商業	情報ビジネス
		福山誠之館	総合学科
		松永	総合学科
		戸手	総合学科
	府中市	府中	普通
		上下	普通
		府中東	普通　インテリア　都市システム
	神石高原町	油木	普通　産業ビジネス

	所在地	学校名	学科	時間帯
公立 高校 定時制	福山市	福山誠之館	普通	夜間
		福山葦陽	普通	午前
		松永	普通	夜間
		芦品まなび学園	普通	午前　午後　夜間
		福山工業	機械	夜間
			機械（技能連携）	夜間
			電気	夜間
公立 通信制 高校	福山市	東	普通	

②近隣の私立高校の学科

	所在地	学校名	学科（コース）
国立高校	福山市	広島大学附属福山	普通
私立高校	福山市	盈進	普通科（特別進学コース／進学コース）
		近畿大学附属広島福山校	普通科（特別進学コース／体育進学コース）
		銀河学院	普通科
		英数学館	普通科
		福山暁の星女子	普通科
	井原市	興譲館	普通科（特別進学コース・トータル進学コース・キャリアデザインコース・スポーツコース）
	笠岡市	岡山龍谷	普通科（特別進学コース・選抜選択コース・進学教養コース） 普通科・情報科・教養Leadersコース 情報科
	浅口市	おかやま山陽	普通科（進学コース・公務員コース・資格専門コース・音楽コース・スポーツコース） 機械科 自動車科 調理科 製菓科
私立通信制高校	福山市	東林館	普通
		並木学院	普通

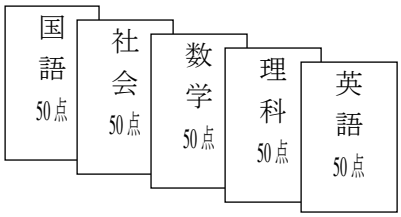
＊＊＊＊＊　　ｍｅｍｏ　＊＊＊＊＊

資料２　　公立高校の合否の判定方法

１．公立高校　一次選抜

① 学力検査（検査時間は各 50 分）

学力検査(250 点)



各教科 50 点×5 教科＝250 点
合否判定は**２５０点**が対象である。

＊　高等学校，課程，学科・コースの特色に応じ，自校が作成した検査問題により学力検査を実施することができる。〈近郊では，福山誠之館（数学，英語）

② 調査書

調査書(225 点)

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	
1年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	＝ 45 点
2年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	＝ 45 点
3年	5	5	5	5	5	5	5	5	5	×3 ＝135 点

各学年５点×９教科で４５点

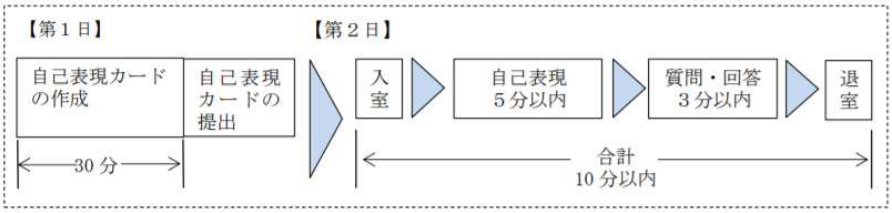
１学年：２学年：３学年　＝　１：１：３　の比重で計算　**２２５点**が対象

③ 自己表現

自己表現(15 点)

生徒１名に対して試験官は２～３名
１日目の学力検査が終了したのち，自己表現カードを３０分で記入し，提出する。
２日目に生徒は５分間の持ち時間で自己表現カードに記入したことをもとに自身のことを試験官に表現する。

※　実施の流れ「イメージ」



評価の観点

ア　自己を認識する力

自分は何が好きなのか，自分はどういう人間なのかなど，自分自身を認識することができているか

イ　自分の人生を選択する力

自分の夢や目標，自分がやりたいことなどについて，自分で考え，選択し，自分の意志で決めることができている。

ウ　表現する力

自分自身のことや自分の意見など，相手に理解してもらえるように，相手や場面に応じて，言葉の使い方や表現の仕方などを工夫しながら伝えることができている。

＊　試験官１名につき，各観点５点，計１５点満点で評価する。

④　①学力調査と②調査書と③自己表現の得点を６：２：２の比重で計算し，１００点満点に換算する。

例

得点

学力検査	２００点（１教科５０点×５教科～２５０点満点）
調査書	１８０点（２２５点満点）
自己表現	２０点（１５点×試験官２名～３０点満点）

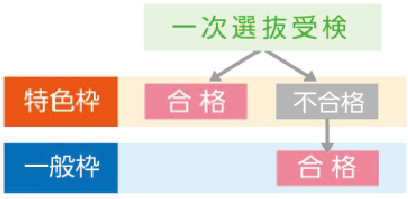
比重（６：２：２）をかけた後の得点

学力検査	４８点（200 点/250 点×**6**/10×100）
調査書	１６点（180 点/225 点×**2**/10×100）
自己表現	１３点（20 点/30 点×**2**/10×100）
合計	７７点（100 点満点）

＊　高等学校，課程，学科・コースの特色に応じ，特定の教科の配点に比重をかける傾斜配点を実施することができる。

〈近郊では，大門高等学校が普通科理数コース（数学・理科２倍）で実施している〉

＊　特色枠：　学力検査と調査書をほぼ同等の方法によらず，学力検査を重視した方法または調査書の学習の記録の合計評点を重視した方法により，入学定員の一部（５割以下）の合格者を決定することができる。特色枠を設ける場合は，重視した方法で選抜したのち，通常の方法で残りの合格者を決定する。



＊　実技検査を実施し，その結果を加えて総合的に判断して合格者を決定できる。

〈近郊では，神辺旭高等学校体育科で実施している〉

２．公立高校一次選抜

高等学校長が，学力検査，調査書及び自己表現（学校・学科によって実技検査や作文もある）の結果によって総合的に判断して決定する。

３．公立高校二次選抜

入学定員に満たない学校で実施される。調査書，自己表現の結果によって総合的に判断される。学校によっては，作文等をおこなうこともある。調査書と自己表現の採点方法は一次選抜と同じ方法でおこなう。合格の判定にあたり，調査書と自己表現にどのような比重をおくかは高等学校長が決定する。

資料３　福山市立神辺西中学校の高等学校への推薦（専願）について

福山市立神辺西中学校

１　基本的な考え方

(1)　中学校での学習面や生活面の基準を満たす。

(2)　各高等学校が設定している推薦基準（共通部分と独自部分）を満たす。

(3)　高等学校で３年間ルールを守り，学習面・生活面ともに前向きに頑張れると見込まれる。

本校と高等学校の信頼関係に関わるものであることに鑑み，以上の要件を満たすことについて，本校進路検討委員会の検討を経て，校長が責任もって推薦できる場合のみ推薦をする。 なお，私立高校の推薦，スポーツ推薦を問わず，同基準で判断する。

２　推薦基準

本校の基準

次の本校区のめざす子ども像となっている。 ・自分の考えを持ち伝え合う子（知） ・人の気持ちがわかり協力できる子（徳） ・健康で粘り強い子（体）

①　自分を磨く四つの心得の実践ができる。

ア　あいさつが積極的にできる。

イ　丁寧な言葉づかい・はきはき返事ができる。

ウ　時間を守ることができる。

エ　掃除を真面目にできる。

②　中学校の規則や社会のルールをきちんと守っている。

ア　授業を積極的に受ける。

イ　正しい服装，身なりで学校生活を送っている。

ウ　学校生活全般において，ルールを守り積極的に活動している。

エ　反社会的な行為がない。

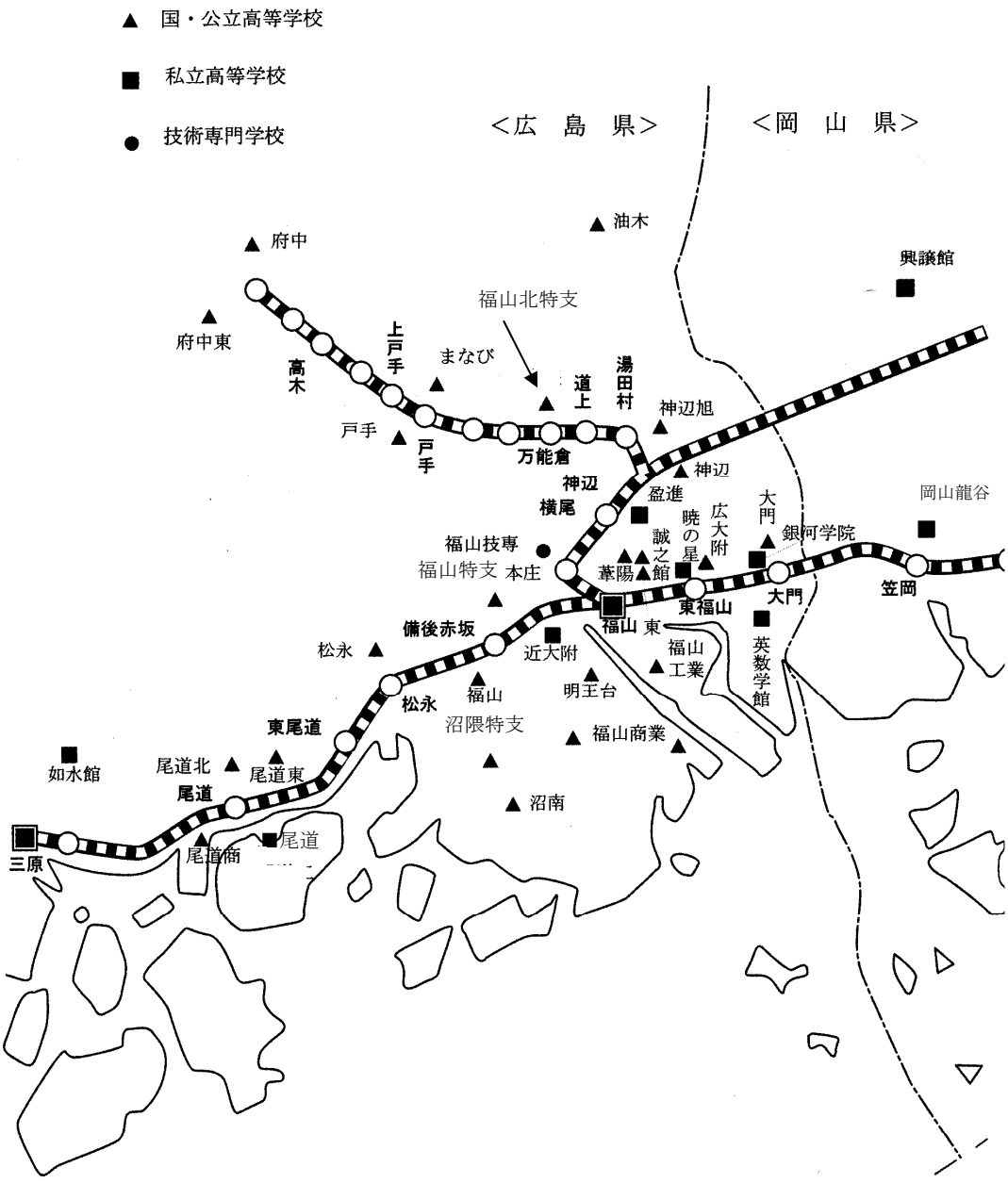
３　推薦の手順

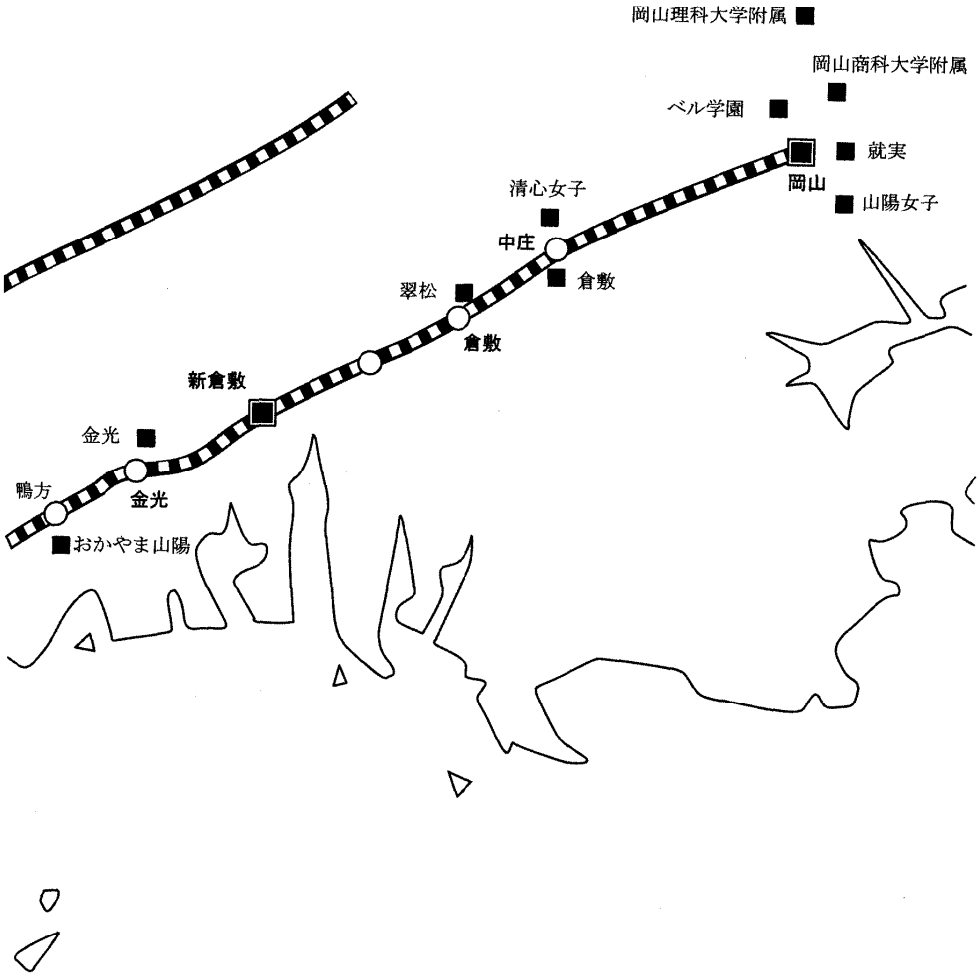
(1)　本人が，保護者と推薦の基準などをよく判断して，推薦を希望する場合は，担任を通して校長に申し出る。

(2)　進路検討委員会で，中学校での学習状況・生活状況が良好であるか，高校生活をきちんと送ることができるかなどを「２　推薦基準」に照らし，総合的に検討して，校長が可否を決定する。

(3)　担任が可否の結果を，本人と保護者に連絡する。

高等学校及び技術専門校の所在地分布図




岡山理科大学附属
岡山商科大学附属
ベル学園
就実
岡山
山陽女子
清心女子
中庄
倉敷
翠松
倉敷
新倉敷
金光
金光
鴨方
おかやま山陽